

# 推奨データセットから自治体標準データセットへ (From the recommended data set to the municipal standard data set)

Digital Agency デジタル庁Data strategy team: Digital Agency, Gov of JP  
2022年10月11日 14:01



画像の出典(\*1)

English follows Japanese.

こんにちは。データ班のオープンデータ担当です。今回は推奨データセットの見直し案について紹介致します。

この記事は2022年10月11日に公開された「[自治体標準データセット（試験公開版）](#)」即ち「[推奨データセットの見直し案](#)」の内容に関する解説として書かれたものです。併せて[デジタル庁アイデアボックス](#)で見直し案に対するご意見を募集しておりますので、本記事をご一読の上、ご意見等ありましたらそちらに記載の要領に沿ってお寄せください。（2022年10月26日追記：募集は終了しました。ご意見をお寄せ頂いたみなさま、ありがとうございました。）

## 1 見直しの経緯

## 2 既存データセットの主な変更点

### **3 新しく追加されたデータセットについて**

### **4 自治体標準データセットとGIFとの関係性**

### **5 よくある質問と回答**

Hello. We're in charge of open data in Data Group. This time, We will introduce a revised proposal of the recommended data set.

This article is intended to explain the contents of [the proposed revision of the Recommended Data Set \(Municipal Standard Data Set\)](#). We are soliciting your opinions on the proposed revision at [Digital Agency Idea Box](#). Please read this article and if you have any opinions, please let us know as described in the outline.

### **1 Background of the revision**

### **2 Major changes to existing data sets**

### **3 About Newly Added Data Sets**

### **4 Relationship between municipal standard data set and GIF**

### **5 FAQ**

(\*1) Image cropped from "[Sign and architecture detail of Hobart City Hall](#)" / Canley / [CC BY-SA 4.0](#)

English: Machine translation by 「[みんなの自動翻訳@TexTra](#)」

# 1 見直しの経緯 (Background of the revision)

Digital Agency デジタル庁Data strategy team: Digital Agency, Gov of JP  
2022年10月11日 14:03

[トップ \(Top\)](#) / [次 \(Next\)](#)

English follows Japanese.

## ▼ 目次

1) 推奨データセット策定の経緯

---

2) 提供側の問題意識（一部抜粋）

---

3) 利用側の問題意識（一部抜粋）

---

4) 今回の見直しへ

---

1) Development of Recommended Data Set

---

2) Problem awareness of providers (partial)

---

3) Users' awareness of problems (partial)

---

4) Toward this review

## 1) 推奨データセット策定の経緯

推奨データセットは、公開ニーズの高いデータセットを選定してそれまでバラバラであったオープンデータのフォーマットを揃えることにより、自治体側のデータ提供と企業や市民等による利活用を結びつけるために2017年に0.1版が策定されました。

その後、推奨データセットに該当するオープンデータを公開している自治体数は、デジタル庁「推奨データセット利用状況連絡フォームの申請」より自治体の申請に基づいて集計したデータによれば、2022年3月時点で468か所と全自治体数の1/4強となっており、その認知や普及は一定程度進んでいます。

## 2) 提供側の問題意識（一部抜粋）

こうした状況の中、2021年6月に公開した「[地方公共団体へのオープンデータの取組に関するアンケート結果](#)」によれば、自由記述式の課題意識のうち、推奨データセットに関するものとしては以下のようものが挙げられました。

- 推奨データセットの加工に手間がかかる。技術的な支援が欲しい
- 推奨データセット（オープンデータ化すべき対象）の拡充
- 都道府県や国での一括管理・公開
- 業務標準化システムへの推奨データセット出力機能の実装
- 推奨データセット活用事例の情報提供をして欲しい
- 一般的な自治体を持つデータをオープンデータ化して、効果が明らかなことを示してほしい
- 推奨データセットには推進の指示が無いため積極的には取り組みづらい
- ロールモデルへのロードマップやデータフォーマットへの強制指針を打ち出してほしい
- 推奨データセットについての指示を政府の所管部門から原課に出してほしい
- 推奨データセットと対になるAPIが提供されるとよい

### 3)利用側の問題意識（一部抜粋）

データを利活用している事業者等の課題意識としては2022年度に実施中の調査によれば次のようなものがありました。

- データ自体やデータフォーマットの品質に関する問題（「データが古い」「フォーマットがばらばらだった」「データが正確でない」「データが加工しにくい」「情報の粒度が統一されていない」等）
- オープンデータの利用継続上の課題としては、「データの数」「更新頻度」「データ形式の利用しにくさ」など
- 識別子の標準化・民間のものとの互換性確保

### 4)今回の見直しへ

こうしたデータの提供者側、利用者側それぞれの問題意識から、推奨データセット（自治体標準データセット）自体を見直す必要性が高まっている状況でした。

このため、標準としてのGIFデータモデルとの連携と並行して、2022年4月からはデータセットの内容や種類をニーズやユースケースの面などから拡充してデータの質と量を改善することと並行して、GIFのデータモデルにより適した形式へと切り替えるために、推奨データセットの大幅な見直しを実施しました。

見直しに当たっては自治体、利用事業者、有識者からなる検討会議を2022年4月以降これまで複数回開催し、それぞれの立場からの指摘事項に基づいて内容を改善してきました。

なお、今回の見直しでカバーしきれない課題についても引き続き対応を検討して行く予定です。

## 1) Development of Recommended Data Set

The 0.1 edition of the Recommended Dataset was established in 2017 in order to link the provision of open data by local governments with the utilization by companies and citizens by picking up datasets with high needs and aligning the format of data that had previously been scattered.

As of March 2022, the number of local governments that have published open data corresponding to the recommended dataset was 468, a little more than one fourth of the total number of local governments, according to the Digital Agency's "Application for the Recommended Dataset Usage Status Notification Form."

## 2) Problem awareness of providers (partial)

Under these circumstances, according to the "[Results of the Questionnaire on open data Initiatives for Local Public Entities](#)" published in June 2021, the following items were identified as issues related to the recommended dataset among the self-described issues.

- It takes time to process the recommended data set. I need technical assistance.
- Expansion of recommended data set (objects to be converted into open data)
- Consolidated management and disclosure by prefectures or the government
- Implementation of recommended data set output function to business standardization system
- We would like you to provide information on examples of recommended data set utilization.
- I would like to see open data from general local governments and show that the effects are clear.
- It is difficult to actively work on the recommended data set because there is no instruction to promote it.
- We want a roadmap to role models and mandatory guidance on data formats.
- Instructions on the recommended data set should be given to the original department from the department in charge of the government.
- A companion API to the recommended data set should be provided.

## 3) Users' awareness of problems (partial)

According to a survey conducted in fiscal 2022, enterprises that use data are aware of the following issues.

- Problems with the quality of the data itself or data format (e.g., "data is out of date", "format was out of place", "data is inaccurate", "data is difficult to process", "information is not granular")
- Reasons for the issues of the continuous use of open data include "number of items," "frequency of updates," and "difficulty in using data-format."
- Standardization of identifiers and ensuring compatibility with private ones

## 4) Toward this review

There was an increasing need to review the recommended data set (local government standard data set) itself due to the awareness of issues on both sides of the data provider and user.

Therefore, in parallel with the collaboration with the GIF data model as a standard, in April 2022, we expanded the content and type of data set from aspects such as needs and use cases to improve the quality and quantity of data. In parallel with this, we conducted a major review of the recommended data set in order to switch to a format more suitable for the GIF data model.

Since April 2022, several meetings have been held to review the report, consisting of local governments, users, and experts. The content of the report has been improved based on the points pointed out by each of them.

In addition, we will continue to consider measures for problems that cannot be covered by this review.

English : Machine translation by 「[みんなの自動翻訳@TexTra](#)」

# 2 既存データセットの主な変更点 (Major Changes to Existing Data Set)

Digital Agency デジタル庁Data strategy team: Digital Agency, Gov of JP  
2022年10月11日 14:04

[トップ \(Top\)](#) / [前 \(Prev\)](#) / [次 \(Next\)](#)

English follows Japanese.

既存のデータセットに関する主な変更点を以下に列挙します。

## ▼ 目次

1) データセット名を「自治体標準データセット」に変更

---

2) 「推奨」の内容の整理

---

3) 政府相互運用性フレームワーク（GIF）との整合性確保

---

4) 項目単位の改善

---

5) メタデータ（カタログデータ）

---

6) 支援制度（給付金）情報

---

1) Data set name changed to "Municipal Standard Data Set"

---

2) Organize the content of "recommendations"

---

3) Consistency with the Government Interoperability Framework (GIF)

---

4) Item-by-item improvement

[すべて表示](#)

## 1) データセット名を「自治体標準データセット」に変更

「推奨データセット」の名称にある「推奨」の意味合いが「任意」とも取れることから人により解釈が揺れる原因にもなっていたため、推奨の内容は次項のように表に整理した上で、自治体向けの標準フォーマットであることを端的に示すために「推奨データセット」から「自治体標準データセット」へと名称を変更しました。

## 2) 「推奨」の内容の整理

推奨の内容としては各データセットの位置づけを整理して、提供元の団体を6種類（初めて取り組む基礎自治体・基礎自治体・一部事務組合等・都道府県・国・民間）に区分し、それぞれに公開を推奨するデータセットを記載しました。その際、従来の基本編・応用編という分け方は止めました。これにより例えばオープンデータにはじめて取り組む自治体がまずどのデータセットから取り組んだらよいのかを、よりわかりやすいものとするを旨としました。併せて、国や都道府県が実施する調査やアンケートで提出しているデータは、データの鮮度や網羅性を考慮しながらも、原則として調査主体が公開する方向にできないか、課題のとりまとめを進めています。

自治体標準データセット（旧：推奨データセット）一覧（既存更新分）

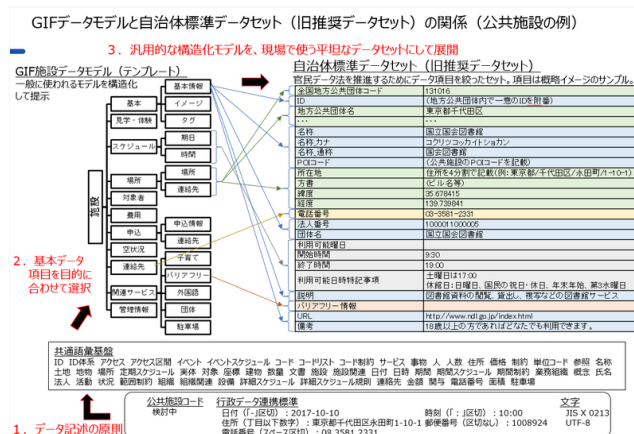
No	目No	データセット名	初めて取得する基礎自治体	基礎自治体	一部事務組合等 *1	都道府県	国	民間
1	12	公共施設一覧	○	○		○	○	
2	4	文化財一覧	○	○		○	○	○
3	10	指定緊急避難場所一覧	○	○		○	○	
4	11	地域・年齢別人口	○	○		○	○	
5	13	子育て施設一覧	○	○		○	○	○
6	14	オープンデータ一覧	○	○	○	○	○	○
7	7	公衆無線LANアクセスポイント一覧		○	○	○	○	○
8	1	AED設置箇所一覧		○		○	○	
9	2	介護サービス事業所一覧		○	○	○	○	
10	3	医療機関一覧		○		○	○	
11	5	観光施設一覧		○	○	○	○	○
12	6	イベント一覧		○	○	○	○	○
13	8	公衆トイレ一覧		○	○	○	○	○
14	9	消防水利施設一覧		○	○			
15	A1	施設等営業許可・届出一覧		○		○		
16	A2	学校給食献立情報		○	○	○	○	○
17	A3	小中学校通学区域情報		○				
18	B1	ホーリング柱状図		○		○	○	○
19	B2	都市計画基礎調査情報		○				
20	B3	調査情報		○	○	○	○	○
21	B4	標準的なバス情報フォーマット(ある場合)	○	○	○	○	○	○
22	B5	支援制度情報（給付金）		○				

\*1 一部事務組合等（広域連合を含む）については種々の運用方法が存在しているため、支援制度(福祉)、公衆無線LAN・観光施設・イベント(観光振興)、消防水利(消防)、学校給食(給食)、オープンデータ一覧・調査情報(一部事務組合自治体の取組情報)など、特許等で設定している広域連合行政を参考に掲載している。  
https://www.soumu.go.jp/main\_content/000658630.pdf

推奨する対象を6つに区分

## 3) 政府相互運用性フレームワーク（GIF）との整合性確保

本データセットを今後政府相互運用性フレームワーク（GIF）の一部と位置づけて行くために、「GIF 地域サービス・データモデル・ガイドブックβ版」等と整合を取るための項目追加、修正を実施しました。またデータ項目定義書の各データセットの参考情報欄にGIFの該当情報を記載しました。最終的にはGIFに完全準拠する方向性ですが、現時点ではデータ整備作業の負担と利便性との兼ね合いを考慮し、GIF側で必須「◎」となっている項目であっても自治体標準データセット側では推奨「○」にとどめているものなどがあります。





## 4) 項目単位の改善

- 「都道府県コード」又は「市区町村コード」という表現を「全国地方公共団体コード」に統一して曖昧さを排除しました。
- 対象物を一意に識別するための「ID」はデータの質を高める重要な項目であるため必須または推奨項目に位置づけました。
- 所在地の情報をGIFで推奨されている「都道府県」「市区町村名」「町字」「番地以下」に4分割し、さらに「町字ID」を追加しました。
- 連絡先情報、アクセシビリティ情報、及び子育て支援情報は、GIFに合わせて項目を追加しました。
- 情報の管理主体や、施設の設置主体である地公共団体名を記載する「都道府県名」及び「市区町村名」を、「地方公共団体名」として統合しました。
- 有無などの区分やコード表を参照する項目の形式を「文字列（統制語彙）」に修正し、自由記述ではないことを明示しました。
- 「先進自治体公開有無」列の情報が古く、意味付けが曖昧となっているため列全体を削除しました。
- 「名称\_英字」「POIコード」「URL」「画像」「画像ライセンス」はデータ利用者の利便性が高い項目なので推奨項目としました。
- 「医療機関コード」「学校コード」等、外部で附番されているものについてはその参照先を記載しました。
- 医療機関一覧の「災害拠点分類」はデータ項目特記事項シートにある分類表を参照するように記載しました。

## 5) メタデータ（カタログデータ）

書籍を探している人にとってはその作者、発行日付、タイトル、分類といった書誌情報が付与されていれば、たいいていのものは見つけ出すことができます。これと同じようにデータにも書誌情報に相当するメタデータ（カタログデータ）が付与されていれば目的のデータを探しやすくなります。メタデータの中には検索性を上げるだけでなく、内容を正しく機械処理するために必要な最終更新日、言語といったデータの質の向上に役立つものもあります。

既存の推奨データセットの中には「オープンデータ一覧」というデータセットがあり、どのようなオープンデータが公開されているかを簡易的に一覧するために提供されていましたが、今回その項目を大幅に拡充して、データの検索性や質を高めることを目指しています。これが自治体標準データセットにおけるメタデータ（カタログデータ）に相当します。

メタデータが整備されると、いわゆるクローラー（データを自動収集するプログラム）などでデータを機械的に検索したり、収集することが可能となり、利用者の利便性は飛躍的に高まります。

## 6) 支援制度（給付金）情報

支援制度（給付金）情報のデータセットについては、フォーマットが他とは大きく異なるため、専用の項目定義書を作成しました。

地方公共団体が行政サービスとして提供している各種支援制度については、適切な相手に届けるための情報発信が重要です。

給付金のような支援制度をデータ化しておくことで、利用者の属性にあわせた検索が可能になるほか、利用者の属性情報と紐づけておくことでプッシュ型での案内も可能になります。また、各地方公共団体間での支援制度の比較も容易になるため、支援制度の拡充や他自治体事例を参考にした支援制度構築などへの活用も期待できます。

<想定される利用例>

- ・ 給付金、助成金検索アプリ
- ・ 支援制度ナビゲーション
- ・ チャットボット、音声AI
- ・ 地方公共団体間の制度比較、新しい支援制度立案の参考情報

[トップ](#) (Top) / [前](#) (Prev) / [次](#) (Next)

The major changes to existing data sets are listed below.

### 1) Data set name changed to "Municipal Standard Data Set"

Because the meaning of "recommendation" in the name of "Recommended Data Set" can be taken as "optional", it caused the interpretation to be shaken by people. Therefore, the content of the recommendation was arranged in the table as shown below, and the name was changed from "Recommended Data Set" to "Municipal Standard Data Set" in order to clearly show that it is a standard format for local governments.

### 2) Organize the content of "recommendations"

As for the content of the recommendations, we have organized the positioning of each dataset, divided the organizations that provided it into six types (basic local governments that are engaged in open data for the first time, basic local governments, some administrative associations, etc., prefectures, the national government, and the private sector), and listed the datasets recommended for disclosure for each of them. At that time, we have stopped the conventional division into basic and applied editions. By doing so, for example, we aimed to make it easier to understand which dataset should be first used by local governments that have yet to engage in data. At the same time, with regard to the data submitted in surveys and questionnaires conducted by the national and prefectural governments, while taking into consideration the freshness and completeness of the data, we are compiling issues to determine whether the survey body can, in principle, disclose the data to the public.

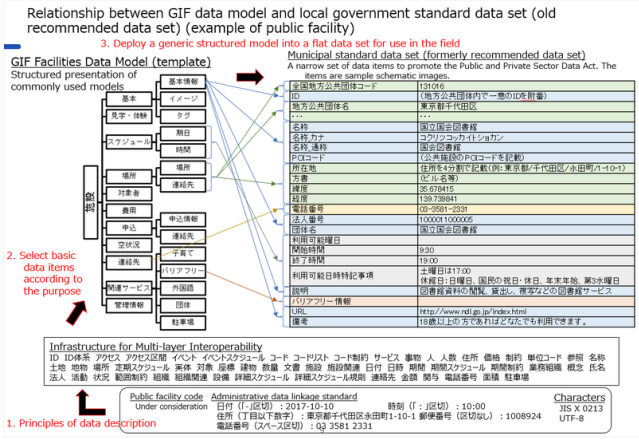
No.	PRSN No	Dataset name	For beginner Municipalities	Municipalities	Partial administrative unions*1	Pref	Gov	Biz
1	12	List of public facilities	○	○		○	○	
2	4	List of cultural properties	○	○		○	○	○
3	10	List of designated Emergency Evacuation Area	○	○		○		
4	11	Population by region and age	○	○		○		
5	13	List of child-rearing facilities	○	○		○	○	
6	14	Open data List	○	○	○	○	○	○
7	7	List of public wireless LAN access points	○	○	○	○	○	○
8	1	List of AED locations	○				○	
9	2	List of Long-Term Care Service	○		○		○	
10	3	List of medical institutions		○			○	
11	5	List of tourist facilities	○		○		○	○
12	6	Event List	○		○		○	○
13	8	List of public restrooms	○		○		○	○
14	9	List of fire fighting water facilities	○		○		○	○
15	A1	List of Food Business Licenses and Notifications				○		
16	A2	School menus for food feeding information		○	○		○	○
17	A3	Elementary and junior high school commuting area information		○				
18	B1	Boring histogram				○		○
19	B2	City planning basic survey information		○				
20	B3	Procurement information		○	○			○
21	B4	Standard bus information format (if any)	○	○				○
22	B5	Support System Information (Benefits)	○	○	○		○	○

\*1 Since there are various cases of cooperation with some administrative associations, etc. (including Extended Associations), they are selected with reference to the wide-area administration assumed by the Ministry of Internal Affairs and Communications, such as support systems (social welfare), public wireless LANs, tourist facilities, events and toilets. (tourism promotion), fire-fighting water resources (fire-fighting), school meals (school meals), open data lists and procurement information (efforts of some administrative associations themselves). [https://www.soumu.go.jp/main\\_content/00069630.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/00069630.pdf)

Six categories of recommendations

### 3) Consistency with the Government Interoperability Framework (GIF)

In order to position this data set as a part of the Government Interoperability Framework (GIF) in the future, we added and revised items in order to make it consistent with the "GIF Regional Service Data Model Guidebook beta version". In addition, relevant information of GIF is described in the reference information column of each data set in the data item definition document. In the end, it will be fully compliant with GIF. However, at present, in consideration of the balance between the burden of data preparation work and convenience, some items that are required "©" on the GIF side are limited to recommended "○" on the local government standard data set side.



GIF and municipal standard data sets (updates to existing flat data sets)

### 4) Item-by-item improvement

The wording "prefecture code" or "municipal code" was unified into "national local government code" to eliminate ambiguity.

- ID, which uniquely identifies an object, is an important item an essential or recommended item because it is an important item for improving the quality of data.
- The location information has been divided into four parts as recommended in the GIF : "prefecture," "city name," "town," and "street number and below", and "town ID" has been added.
- Contact Information, Accessibility Information and Child Care Support Information have been added in line with the GIF.
- "Names of prefectures" and "names of municipalities", which contain the names of local public entities that manage information and establish facilities, were integrated into "names of local public entities."
- The format of categories such as presence / absence and items referring to code tables was revised to "character string (controlled vocabulary)" to clarify that it is not a free description.
- The information in the "Open to public by advanced municipalities" column is old and the meaning is ambiguous, so the entire column has been deleted.
- "Name \_ Alphabet", "POI Code", "URL", "Image" and "Image License" are items that are highly convenient for data users and are therefore recommended items.
- For external codes, such as "Medical Institution Code" and "School Code," reference information is provided.
- "Disaster base classification" in the list of medical institutions is described as referring to the classification table in the data item special note sheet.

## 5) Metadata (catalog data)

If you're looking for a book, you can find most of it if you give it bibliographic information, such as author, issue date, title, and classification. Similarly, if you give data metadata (catalog data), it's easier to find the data you want. In addition to making it searchable, some of the metadata can also help improve the quality of the data, such as the last update date and language needed to machine the content correctly.

Among the existing recommended datasets, there is a dataset called "open data List" ", which was provided to list what kind of open data is publicly available. This time, this item has been expanded greatly with the aim of improving the searchability and quality of the data. This corresponds to the metadata (catalog data) in the municipal standard data set.

Once the metadata is organized, it becomes possible to search and collect data mechanically with a crawler (a program that automatically collects data), and the convenience of data users is greatly enhanced.

## 6) Support system (benefit) information

As for the data set of support system (benefit) information, the format is very different from others, so we prepared a special item definition document.

With regard to various support systems provided by local governments as administrative services, it is important to provide information to reach appropriate parties.

By storing data on support systems such as benefits, it is possible to search according to the user's attributes. It is also possible to provide push-type guidance by linking it with user attribute information. It is also possible to compare support systems among local governments, so it can be used to expand support systems and build support systems referring to cases of other local governments.

<Possible Use Cases>

- Benefit and Subsidy Search Apps
- Support system navigation
- Chatbots, voice AI
- Reference information for system comparison among local governments and formulation of new support system

English : Machine translation by 「[みんなの自動翻訳@TexTra](#)」

# 3 新しく追加されたデータセットについて (About newly added data set)

Digital Agency デジタル庁Data strategy team: Digital Agency, Gov of JP  
2022年10月11日 14:04

[トップ \(Top\)](#) / [前 \(Prev\)](#) / [次 \(Next\)](#)

English follows Japanese.

今回、利用ニーズや利活用の広がりやすさ等を勘案して9種類のデータセットを試験的に新規追加しました。

#	データセット	GIFデータモデル						
		施設	設備	住所	連絡先	アクセシビリティ	子育て支援	地価・地点
1	防災行政無線設置一覧	○	○	○	○	○	○	
2	教育機関一覧			○	○	○		
3	公営駐車場一覧	○		○	○	○	○	
4	公営駐輪場一覧	○		○	○	○	○	
5	投票所一覧	○		○	○	○	○	
6	ゴミの分別方法一覧							
7	市営の駅	○		○	○	○	○	
8	ゴミ集積場一覧	○		○	○			
9	観光ポイント			○	○	○	○	○

追加した9種類のデータセット

## ▼ 目次

1) 各データセットを追加した理由と想定される利用例

---

2) データモデル型として一部構造化した背景

---

1) Reasons for adding each data set and examples of possible uses

---

2) Partially structured background as data model type

## 1) 各データセットを追加した理由と想定される利用例

### 1.1) 防災行政無線設置一覧

地方公共団体が住民に対して防災情報や行政情報と発信する防災行政無線は、災害などによる住民の生命に直結するケースもあることから、重要な情報発信手段であると考えられます。

一方で拡声放送の難聴地区にあたる地域では、緊急時などの情報を的確に届けるための施策を考えていく必要があり、このデータをもとに難聴地区を可視化することなどによって効率的な政策立案、及び民間事業者などからの効果的な提案などが期待できます。

#### <想定される利用例>

- ・防災行政無線アプリ
- ・総合防災アプリ

#### 1.2) 教育機関一覧

教育機関の情報は、各地方公共団体が保有している情報であり、今後のGIGAスクール構想において、教育データのアーキテクチャを踏まえた全体イメージの中でも、各教育機関は施設として含まれており、今後のデータの整備が求められると考えられます。

また、教育機関（小学校など）は、地域の避難所としての機能もあわせ持っており、防災の側面からもデータ化しておくことが望ましいと考えられます。

#### <想定される利用例>

- ・子育て支援アプリへの掲載
- ・子育て応援マップなどでのマッピング
- ・学校情報検索アプリへの掲載
- ・防犯情報や事故情報などと連携した安全情報の提供

#### 1.3) 公営駐車場一覧

駐車場の情報は日常生活の中でも、観光地を訪れた際にも必要な情報の一つであり、公営駐車場の情報を的確に届けることで、路上駐車などの迷惑行為の改善も期待できます。

#### <想定される利用例>

- ・駐車場検索アプリ
- ・観光情報アプリなどのコンテンツ
- ・カーナビなどのコンテンツ
- ・駐車場利用状況と合わせて空き状況のリアルタイム配信

#### 1.4) 公営駐輪場一覧

公営駐輪場は各地方公共団体が管理、運営しているものであると考えられ、すでにオープンデータとして公開している地方公共団体もあります。

コロナ禍の影響もあり、自転車の販売台数も伸びているため、今後自転車を利用する人も横ばいか増えてくることも想定されます。自転車では違法駐輪などもよく指摘されるため、駐輪場の整備とともに駐輪場の情報を的確に発信することも必要になると考えられます。

#### <想定される利用例>

- ・駐輪場検索アプリ
- ・自転車ナビ、サイクリング関連アプリ
- ・観光ガイドアプリ
- ・駐輪場利用状況と合わせて空き状況のリアルタイム配信

#### 1.5) 投票所一覧

投票所の場所については地方公共団体が情報をもっており、定期的に変わる情報ではないと考えられます。投票所は基本的には選挙の時にのみ使われる情報であり、自分の選挙区の投票所は投票所入場券に記載されていますが、選挙時には各種報道を含め出口調査など様々な情報分析も行われます。こ

のような情報分析のほか、投票促進のために各投票所の投票率の速報や、各投票所の混雑状況などの情報発信にも利活用が期待できます。

<想定される利用例>

- ・投票所の混雑状況のリアルタイム配信
- ・選挙情報配信アプリ
- ・期日前投票所案内アプリ
- ・投票所ルート案内

#### 1.6) ゴミの分別方法一覧

ゴミの分別方法は、国等が統一ルールを設けているものではなく、各地方公共団体のゴミ処理施設等の関係で、地方公共団体単位で分別方法が決められています。ゴミの問題はSDGsにも関係し、プラスチックゴミなどによる海洋汚染が国際的な問題になるなど、ゴミの減量だけでなく、ゴミの分別についてもしっかりと目を向けていく必要があると考えられます。

ゴミの分別方法は、ゴミに関する情報発信だけでなく、イベントなどの啓発活動での活用も期待されます。

<想定される利用例>

- ・ゴミ出しアプリ
- ・ゴミ分別方法検索アプリ
- ・チャットボット、音声AI

#### 1.7) 赤ちゃんの駅

赤ちゃんの駅は、現在の推奨データセットにある「子育て施設一覧」とは異なり、乳幼児を連れた親子が自由に立ち寄り、おむつ替えや授乳ができるスペース（設備）としての役割があります。

すでに比較的多くの地方公共団体で情報提供されていますが、統一したフォーマットがないため、利活用時に手間がかかってしまいます。子育てに優しい社会醸成のためには必要なサービスであるため、推奨データセットとして公開することで、利活用シーンが増えていくことが期待されます。

<想定される利用例>

- ・子育て応援アプリ
- ・子育て応援施設マップ
- ・授乳室検索アプリ
- ・観光案内アプリ

#### 1.8) ゴミ集積場所一覧

公的なゴミ集積場所の情報は、利用しやすさが向上することで、住民の利便性向上やゴミの集積が期待できます。

<想定される利用例>

- ・ゴミ集積場所マップ等での可視化

#### 1.9) 観光ポイント

Withコロナの中で、コロナ禍で疲弊した我が国において観光に寄せる期待は大きく、国内外問わず観



光客が訪れることは地方の活性化、経済活動においても重要だと考えられます。観光に関する情報については、現在「観光施設一覧」が推奨データセットに存在し、場所としての観光施設についてのデータを有していますが、施設情報だけではなく、観光ポイント情報もデータとして公開することで、観光情報の充実が図れるとともに、観光スポットに観光客を呼び込みたい地方公共団体のアピールにも資することができると考えられます。

<想定される利用例>

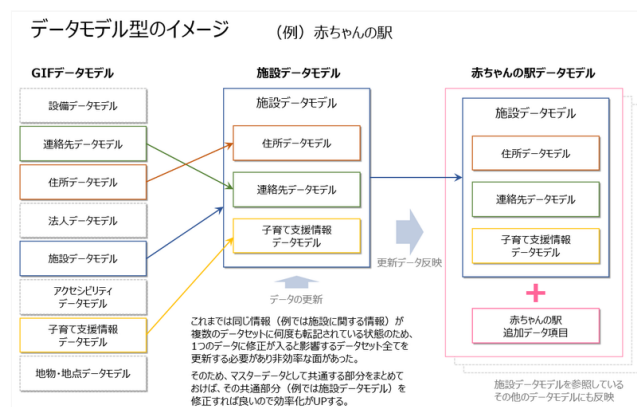
- ・観光スポット案内アプリ
- ・観光マップ
- ・観光ルート検索

## 2) データモデル型として一部構造化した背景

既存データセットの見直し内容については、互換性を重視して基本的には従来のフォーマットをベースに項目をGIFから単純に追加したものとなっているのに対して、今回新規追加したデータセットについてはGIFを参照して対象物が決まれば値が一意に決まる基本情報（いわゆるマスタ情報）と、種別や用途などに応じて内容や繰り返し数が変わる関連情報をファイルとして分ける形を取り、構造化の考え方を一部取り入れたものとなっています。

従来のオープンデータについては質と量の改善が課題となっていますが、その中・長期的な解決策のひとつとしてデータの構造化が挙げられます。構造化の目指すところはLOD(Linked Open Data)すなわち5つ星オープンデータとして知られており、あらゆる物事に一意のIDが付与され相互の関係性に基づいてリンクされた形ですが、一足飛びに5つ星のデータ構造を完璧に整備するのは困難なため、今回はその第一歩としてGIFに記載されたデータモデルをベースに、コアデータモデルと、個々の用途に応じたデータモデルを別々のCSVの組み合わせとして定義しました。仮に星を付けるなら3.1つ星ということでしょうか。

例えば「赤ちゃんの駅一覧」であれば、「施設」コアデータモデルに「住所型」「連絡先型」「アクセシビリティ型」「子育て情報型」のデータモデルをそれぞれ埋め込んだ形のCSV、そして赤ちゃんの駅に関わる属性だけを定義した「赤ちゃんの駅一覧」データモデルのCSVの2つが施設の「ID」を介して連携する形です。



データ提供者（保有者）側から見れば赤ちゃんの駅にとどまらず投票所や避難所等、多目的に利用されることの多い施設について、そのマスタデータとして基本的な情報を一元的に管理し、赤ちゃんの駅としてはマスタに付与された施設IDと施設の区分等、その用途に応じた属性部分だけを分けて管理する形になります。

これにより、例えば〇〇保育施設の電話番号が変わった場合、赤ちゃんの駅、投票所、避難所それぞれの台帳を書き変えるのではなく、施設台帳を一箇所書き変えるだけで済むことになります。施設台帳を一元的に整備し、ひいては情報システムにうまく取り込むことでいわゆるDXの取り組みにもつながるものではないでしょうか。

データ利用者側から見れば「赤ちゃんの駅」としてのデータ全体が必要な場合にはIDを介して2つのCSVを紐付けて利用することになり、その部分は一見手間が増えるように見えますが、継続的にデータを処理する場合にはマスタデータと個々の用途ごとの属性データが分離されていることによって利用者側でも重複や矛盾が避けられ、より合理的なデータ処理が可能になります。

[トップ \(Top\)](#) / [前\(Prev\)](#) / [次\(Next\)](#)

This time, we added nine new data sets on a trial basis, taking into account usage needs and ease of connection to utilization.

List of local government standard data sets (added as data model type)								
#	Dataset	GIF data model						
		Facility	Equipment	Address	Contact	Accessibility	Childrearing support	Feature point
1	List of radio stations for disaster prevention administration	○	○	○	○	○	○	○
2	List of educational institutions			○	○			
3	List of public parking lots	○		○	○	○	○	
4	List of public bicycle parking lots	○		○	○	○	○	
5	List of polling stations	○		○	○	○	○	
6	List of garbage separation methods							
7	Baby Station	○		○	○	○	○	
8	List of garbage collection sites	○		○	○			
9	Tourist attractions			○	○	○	○	○

9 additional data sets

## 1) Reasons for adding each data set and examples of possible uses

### 1.1) List of radio stations for disaster prevention administration

The disaster prevention administrative radio, which local governments transmit disaster prevention information and administrative information to residents, is considered to be an important means of transmitting information because it can be directly linked to the lives of residents due to disasters, etc. On the other hand, it is necessary to consider measures to accurately deliver information on emergencies and other situations in areas with hearing loss that are covered by public broadcasts. By visualizing the hearing loss areas based on this data, efficient policy formulation and effective proposals from private businesses can be expected.

<Possible Use Cases>

- Disaster prevention administration wireless application

- Comprehensive disaster prevention application

### 1.2) List of educational institutions

In the future GIGA School Concept, each educational institution is included as a facility in the overall image based on the architecture of educational data, and it is necessary to prepare the data in the future.

In addition, educational institutions (such as elementary schools) also function as local shelters, and it is desirable to prepare data from the viewpoint of disaster prevention.

#### < Possible Use Cases >

- Posting on child-rearing support applications
- Mapping with child-rearing support map, etc.
- Posting on school information search app
- Provision of safety information in coordination with crime prevention information and accident information

### 1.3) List of public parking lots

Information on parking lots is one of the necessary information in daily life and when visiting tourist spots, and by accurately delivering information on public parking lots, it is expected to improve nuisance behavior such as on-street parking.

#### <Possible Use Cases >

- Parking Search App
- Content such as tourist information applications
- Contents such as car navigation systems
- Real-time delivery of parking space availability along with parking space usage

### 1.4) List of public bicycle parking lots

It is considered that public bicycle parking lots are managed and operated by each local public body, and some local public bodies have already opened them to the public as open data.

As the number of bicycles sold is increasing due to the impact of the COVID-19 pandemic, it is expected that the number of people who use bicycles will stay flat or increase in the future. As illegal bicycle parking is often pointed out, it is necessary to provide bicycle parking spaces and provide accurate information about bicycle parking spaces.

#### <Possible Use Cases >

- Bicycle parking area search application
- Bicycle navigation and cycling related apps
- Tourist guide app
- Real-time delivery of availability status along with bicycle parking space usage status

### 1.5) List of polling stations

Local governments have information on the location of polling stations, which does not change regularly. Polling stations are basically information used only at the time of elections, and polling

stations in one's own constituency are listed in the Polling Station Admission Ticket. At the time of elections, various information analyses such as exit surveys including various news reports are conducted. In addition to this information analysis, it can be expected to be used for quick reports on the voter turnout at each polling station and information on the congestion at each polling station to promote voting.

<Possible Use Cases>

- Real-time distribution of polling station congestion
- Election information distribution application
- Early Voting Station guide application
- Polling station route guidance

#### 1.6) List of garbage separation methods

The national government and other organizations do not have a unified rule on garbage separation methods, but each local government sets its own garbage separation method in relation to the garbage disposal facilities of each local government. The garbage problem is related to the SDGs, and marine pollution caused by plastic garbage has become an international problem. It is necessary to pay attention not only to the reduction of garbage but also to the sorting of garbage.

Garbage separation methods are expected to be used not only for disseminating information about garbage, but also for educational activities such as events.

<Possible Use Cases>

- Garbage application
- Garbage sorting method search application
- Chatbots, voice AI

#### 1.7) Baby Station

Unlike the "List of Child Care Facilities" in the current recommended data set, Akachan no Eki serves as a space (facility) where parents and children with infants can stop by freely and change diapers or breastfeed.

Information has already been provided by relatively many local governments, but since there is no unified format, it takes time and effort to use it. Since it is a necessary service for fostering a child-friendly society, it is expected that the number of use cases will increase by publishing it as a recommended data set.

<Possible Use Cases>

- Childrearing support application
- Childcare Support Facility Map
- Nursing room search application
- Tourist guide application

#### 1.8) List of garbage collection sites

Information on public garbage collection sites is expected to improve the convenience of residents and the collection of garbage by improving the ease of use.

<Possible Use Cases>

- Visualization through maps of garbage collection sites

### 1.9) Tourist attractions

In Japan, which has been exhausted by the COVID-19 by the COVID-19 crisis, has high expectations for tourism, and it is considered important for local revitalization and economic activities that tourists from both Japan and overseas visit. As for information on tourism, the "List of Tourist Facilities" is currently included in the recommended data set and contains data on tourist facilities as locations. However, by disclosing not only facility information but also tourist point information as data, it is considered that tourist information can be enriched and that it can contribute to appeal of local governments that want to attract tourists to tourist spots.

<Possible Use Cases>

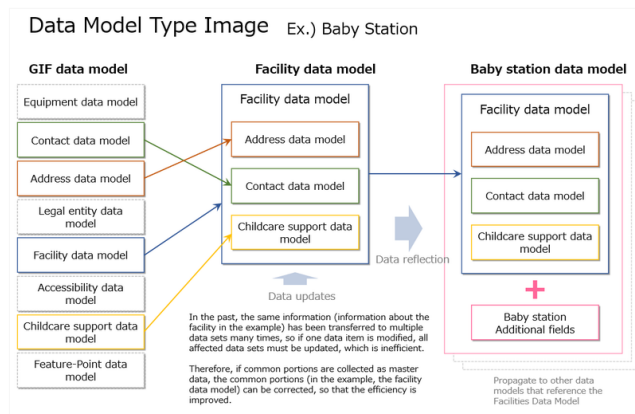
- Sightseeing spot guide application
- Tourist map
- Sightseeing route search

## 2) Partially structured background as data model type

The content of the review of the existing data set is basically a simple addition of items from GIF based on the conventional format with an emphasis on compatibility. On the other hand, for the newly added data set, basic information (so-called master information) whose value is uniquely determined when the object is determined by referring to the GIF, and related information whose content and number of repetitions vary depending on the type and use are divided into files, and a part of the concept of structure is incorporated.

One medium - and long-term solution to the problem of improving the quality and quantity of conventional open data is the structuring of open data. The goal of structuring is known as Linked Open Data (LOD), or five star data. Everything is given a unique ID and linked together based on mutual relationships. However, it is difficult to completely organize the five star data structure. As a first step, we defined the core data model and the model for each application as separate CSVs based on the data model described in GIF. If I add stars, it will be about 3.1 stars.

For example, in the case of the "List of Baby Stations," two types of data models are linked via the "ID" of the facility : a CSV with the "Address type," "Facility contact type," "Accessibility type," and "Childrearing information type" embedded in the "Facility" core data model, and a CSV with the "List of Baby Stations" data model that defines only attributes related to the baby stations.



GIF and Baby Station Data Model

As a result, from the perspective of data providers, for facilities that are often used for multiple purposes, such as polling stations and shelters, as well as baby stations, fixed information can be centrally managed as master data, and for baby stations, only attributes that are assigned to the master, such as facility IDs and facility classifications, need only be managed according to the usage.

From the perspective of data providers (holders), basic information is centrally managed as master data for facilities that are often used for multiple purposes, such as polling stations and evacuation centers, as well as baby stations. As for baby stations, only the attribute part corresponding to the purpose of use, such as facility ID and facility classification given to the master, is separately managed.

As a result, when the phone number of a xx childcare facility changes, for example, instead of changing the registry for each baby station, polling station, and evacuation center, it is only necessary to change necessary to change the registry of the facility only in one place. By centrally maintaining the registry of the facility and by incorporating it into the information system well, it may lead to so-called DX initiatives.

From the point of view of data users, when the entire data as a "baby station" is needed, two CSVs are linked via ID and used. This part seems to increase the labor at a glance, but when data is processed continuously, the master data and attribute data for each application are separated, so duplication and inconsistency are avoided and more rational data processing becomes possible.

# 4 自治体標準データセットとGIFとの関係性 (Relationship between Municipal Standard Data Set and GIF)

Digital Agency デジタル庁Data strategy team: Digital Agency, Gov of JP  
2022年10月11日 14:05

[トップ\(Top\)](#) / [前\(Prev\)](#) / [次\(Next\)](#)

English follows Japanese.

今回の見直し案はGIFと深く関連しています。作成データの内容についてはデータセットごとの項目定義書に全て記載されており、通常はGIFの文書を直接参照する必要はありませんが、参考情報として以下にその関係性を説明します。

## ▼ 目次

1) GIFとは

---

2) 「地域サービス・データモデル・ガイドブック」記載の対応表

---

3) なぜ地域サービスモデルの中に含まれたのか

---

1) What is a GIF?

---

2) Correspondence table described in "Regional Service Data Model Guidebook"

---

3) Why was it included in the regional service model?

## 1) GIFとは

政府相互運用性フレームワーク (GIF) は、誰でも必要な情報が簡単に手に入り、新たなサービスをスタートさせやすい環境づくりを目指すべく、データの利活用や連携がスムーズに行える社会を実現するための技術的体系として、2022年4月に公開されました。

GIFは、以下の5原則に基づいて推進されています。

- ・従来の取り組みの継承
- ・デジタル社会のルール形成
- ・参照モデルの活用

- ・構造化したデータモデル
- ・グローバル連携

GIFの参照モデルの考え方は「ひな形」と同じイメージで、利用者は参照モデルを利用目的にあわせて拡張したり、内容を部分利用したりすることで、容易に相互運用性の高いサービスを作ることができます。ただし、参照モデルは正しい使い方をする必要があります。単なるひな形に過ぎないと考えて自由に改変すると相互運用性が損なわれてしまいます。そのため、参照モデルをできるだけ変更しないようにするとともに、変更した場合には変更点を明確にすることにより、高い運用性が確保されます。

データモデルは、繰り返し構造を持つとともにブロック化したパーツを組み合わせて扱えるように構造化して整理します。専門知識がない人のために、表形式のデータ定義も併用します。



参照モデルのイメージ

## 2) 「地域サービス・データモデル・ガイドブック」記載の対応表

これまでの推奨データセット（2.10版まで）のモデルは、2022年5月31日付けのGIF「地域サービス・データモデル・ガイドブック（β版）」において、それぞれ従来フォーマットのままGIFに含まれるモデルとして取り込まれました。以下に対応表を示します。

推奨データセット <sup>①</sup>	GIFでの表記 <sup>②</sup>	GIF 文書内の記述箇所等 <sup>③</sup>
AED 設置箇所 <sup>④</sup>	AED <sup>⑤</sup>	設備 <sup>⑥</sup>
介護サービス事業所 <sup>④</sup>	介護サービス事業所 <sup>⑤</sup>	施設 <sup>⑥</sup>
医療機関 <sup>④</sup>	医療機関 <sup>⑤</sup>	施設 <sup>⑥</sup>
文化財 <sup>④</sup>	文化財 <sup>⑤</sup>	文化財 <sup>⑥</sup>
観光施設 <sup>④</sup>	公共施設・観光施設 <sup>⑤</sup>	施設 <sup>⑥</sup>
イベント <sup>④</sup>	イベント <sup>⑤</sup>	イベント <sup>⑥</sup>
公衆無線 LAN アクセスポイント <sup>④</sup>	公衆無線 LAN アクセスポイント <sup>⑤</sup>	設備 <sup>⑥</sup>
公衆トイレ <sup>④</sup>	公衆トイレ <sup>⑤</sup>	設備 <sup>⑥</sup>
消防水利施設 <sup>④</sup>	消防水利施設 <sup>⑤</sup>	設備 <sup>⑥</sup>
指定緊急避難場所 <sup>④</sup>	指定緊急避難場所 <sup>⑤</sup>	地物・地点 <sup>⑥</sup>
地域・年齢別人口 <sup>④</sup>	地域・年齢別人口 <sup>⑤</sup>	行政情報 <sup>⑥</sup>
公共施設 <sup>④</sup>	公共施設・観光施設 <sup>⑤</sup>	施設 <sup>⑥</sup>
子育て施設 <sup>④</sup>	子育て支援施設 <sup>⑤</sup>	施設 <sup>⑥</sup>
オープンデータ <sup>④</sup>	データカタログ等メタデータ <sup>⑤</sup>	カタログ <sup>⑥</sup>
食品等営業許可・届出 <sup>④</sup>	食品等営業許可・届出事業所 <sup>⑤</sup>	施設 <sup>⑥</sup>
学校給食献立情報 <sup>④</sup>	給食献立 <sup>⑤</sup>	健康 <sup>⑥</sup>
小中学校通学区域情報 <sup>④</sup>	学校 <sup>⑤</sup>	施設 <sup>⑥</sup>
ボーリング柱状図等 <sup>④</sup>	ボーリングデータ <sup>⑤</sup>	建物内・地下街・地下埋設物 <sup>⑥</sup>
都市計画基礎調査情報 <sup>④</sup>	都市計画基礎調査 <sup>⑤</sup>	土地 <sup>⑥</sup>
調達情報 <sup>④</sup>	調達情報 <sup>⑤</sup>	GIF 実装データモデル（行政（調達）を参照 <sup>⑥</sup> ）
標準的なバス情報フォーマット <sup>④</sup>	駅・バス停、鉄道路線・バス路線 <sup>⑤</sup>	交通関係施設 <sup>⑥</sup>
支援制度情報 <sup>④</sup>	制度情報 <sup>⑤</sup>	GIF 実装データモデル（行政（行政サービス・制度）を参照 <sup>⑥</sup> ）



今回の見直しによる推奨データセット（自治体標準データセット）側の変更点については、GIF「地域サービス・データモデル・ガイドブック（β版）」と連携しながら修正を進めていく予定です。

### 3) なぜ地域サービスモデルの中に包含されたのか

デジタル田園都市国家構想推進交付金の採択都市においては、相互運用性確保のためにGIFあるいは標準データモデルへ準拠することが求められています。これにより今後、全国のスマートシティへGIFの実装データモデル（地域サービス）への参照が広がっていくと考えられます。

一方、これまでの推奨データセットの提供側の課題のひとつに何のために出しているかわからない、利活用状況が見えない、といった点がありました。

こうした地域サービスに関わるプロジェクトのシステムやサービスで利活用されるデータモデルの中に推奨データセットを組み込むことで、推奨データセットの整備と地域サービスでの利活用をリンクさせることを意図しています。

[トップ \(Top\)](#) / [前 \(Prev\)](#) / [次 \(Next\)](#)

The revised proposal is closely related to the GIF. The contents of the created data are all described in the item definition document for each data set, and it is not necessary to directly refer to [the GIF document](#) in general. However, the relationship is explained below for reference information.

## 1) What is a GIF?

[Government Interoperability Framework \(GIF\)](#), was released on April, 2022 as a technical system to realize a society in which data utilization and cooperation can be carried out smoothly with the aim of creating an environment in which anyone can easily obtain necessary information and start new services.

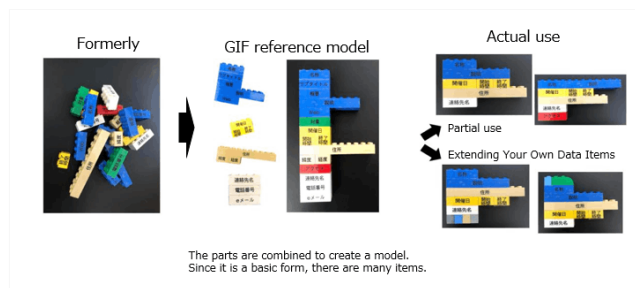
The GIF is promoted based on the following five principles :

- Continuation of previous initiatives
- Formation of rules for digital society
- Use of reference models

- Structured data models
- Global collaboration

The concept of the reference model in the GIF is the same image as the "model". Users can easily create highly interoperable services by expanding the reference model according to the purpose of use or partially using the content. However, the reference model needs to be used correctly. If you think that it is just a model and change it freely, interoperability will be lost. Therefore, the reference model should not be changed as much as possible, and if it is changed, the point of change should be made clear to ensure high operability.

The data model is structured and organized so that you can work with combinations of repeating and blocked parts, along with tabular data definitions for non-technical users.



Reference Model Image

## 2) Correspondence table described in "Regional Service Data Model Guidebook"

In the "Regional Service Data Model Guidebook (beta version)" dated May 31, 2022, the models of the previous Recommended Data Set (2.10 version) were incorporated into the models included in the GIF in their respective conventional formats. The table below shows the correspondence.

Recommended dataset <sup>①</sup>	GIF Notation <sup>②</sup>	Description part in GIF document <sup>③</sup>
AED 設置箇所 <sup>④</sup>	AED <sup>⑤</sup>	設備 <sup>⑥</sup>
介護サービス事業所 <sup>④</sup>	介護サービス事業所 <sup>⑤</sup>	施設 <sup>⑥</sup>
医療機関 <sup>④</sup>	医療機関 <sup>⑤</sup>	施設 <sup>⑥</sup>
文化財 <sup>④</sup>	文化財 <sup>⑤</sup>	文化財 <sup>⑥</sup>
観光施設 <sup>④</sup>	公共施設・観光施設 <sup>⑤</sup>	施設 <sup>⑥</sup>
イベント <sup>④</sup>	イベント <sup>⑤</sup>	イベント <sup>⑥</sup>
公衆無線 LAN アクセスポイント <sup>④</sup>	公衆無線 LAN アクセスポイント <sup>⑤</sup>	設備 <sup>⑥</sup>
公衆トイレ <sup>④</sup>	公衆トイレ <sup>⑤</sup>	設備 <sup>⑥</sup>
消防水利施設 <sup>④</sup>	消防水利施設 <sup>⑤</sup>	設備 <sup>⑥</sup>
指定緊急避難場所 <sup>④</sup>	指定緊急避難場所 <sup>⑤</sup>	地物・地点 <sup>⑥</sup>
地域・年齢別人口 <sup>④</sup>	地域・年齢別人口 <sup>⑤</sup>	行政情報 <sup>⑥</sup>
公共施設 <sup>④</sup>	公共施設・観光施設 <sup>⑤</sup>	施設 <sup>⑥</sup>
子育て施設 <sup>④</sup>	子育て支援施設 <sup>⑤</sup>	施設 <sup>⑥</sup>
オープンデータ <sup>④</sup>	データカタログ等メタデータ <sup>⑤</sup>	カタログ <sup>⑥</sup>
食品等営業許可・届出 <sup>④</sup>	食品等営業許可・届出事業所 <sup>⑤</sup>	施設 <sup>⑥</sup>
学校給食献立情報 <sup>④</sup>	給食献立 <sup>⑤</sup>	健康 <sup>⑥</sup>
小中学校通学区域情報 <sup>④</sup>	学校 <sup>⑤</sup>	施設 <sup>⑥</sup>
ボーリング柱状図等 <sup>④</sup>	ボーリングデータ <sup>⑤</sup>	建物内・地下街・地下埋設物 <sup>⑥</sup>
都市計画基礎調査情報 <sup>④</sup>	都市計画基礎調査 <sup>⑤</sup>	土地 <sup>⑥</sup>
調達情報 <sup>④</sup>	調達情報 <sup>⑤</sup>	GIF 実装データモデル(行政(調達))を参照 <sup>⑥</sup>
標準的なバス情報フォーマット <sup>④</sup>	駅・バス停、鉄道路線・バス路線 <sup>⑤</sup>	交通関係施設 <sup>⑥</sup>
支援制度情報 <sup>④</sup>	制度情報 <sup>⑤</sup>	GIF 実装データモデル(行政(行政サービス・制度))を参照 <sup>⑥</sup>

Correspondence table

Changes in the recommended data set (local government standard data set) side due to this review will be reflected in the GIF "Regional Service Data Model Guidebook" side.

### 3) Why was it included in the regional service model?

Cities that have adopted the Digital Garden City National Plan Promotion Subsidy are required to conform to GIF or standard data model to ensure interoperability, and it is expected that reference to GIF implementation data model (regional service) will spread to smart cities nationwide in the future.

On the other hand, one of the issues faced by the providers of the recommended data sets up to now is that they do not know what the data sets are being provided for and that they do not know the status of utilization.

By incorporating recommended data sets into data models used in systems and services for projects related to regional services, we intend to link the development of recommended data sets with their use in regional services.

# 5 よくある質問と回答 (Frequently Asked Questions and Answers)

Digital Agency デジタル庁Data strategy team: Digital Agency, Gov of JP  
2022年10月11日 14:05

[トップ \(Top\)](#) / [前 \(Prev\)](#)

English follows Japanese.

## ▼ 目次

Q1) 今後の予定は？

Q2) 新しいフォーマットへの切り替えはいつ頃から開始すれば良いのでしょうか？

Q3) 平坦な既存フォーマット版は、今後構造化した新規データモデル版に切り替わっていくのでしょうか？

Q4) コンバーター（新旧データ変換ツール）とはどのようなものですか？

Q5) データモデル型のデータを作るのは手間が掛かりそうなのですが

Q6) 自治体標準データセットはGIFに準拠していると考えて良いですか？

## Q1) 今後の予定は？

A1) 従来の推奨データセットの内容を大幅に見直したため、今回は正式版の前に意見募集を行って内容を改善することを目的とした、試験的な公開版の位置づけです。意見募集は10月下旬まで実施予定です。

改善の後、コンバーター（新旧データ変換ツール）と併せて2023年3月までに正式版をリリース予定です。

## Q2) 新しいフォーマットへの切り替えはいつ頃から開始すれば良いのでしょうか？

A2) 2022年度いっぱいにはデータの提供者・利用者双方の立場から今回の見直し内容の妥当性を評価して頂く期間と考えています。この間、試験的な取組として新フォーマットについて公開可否を検討したり、試作をして頂くことについては問題ありませんが、実際の切り替えは正式版が出てから、2023年度以降に、定期更新のタイミングで実施することをお奨めします。

### **Q3) 平坦な既存フォーマット版は、今後構造化した新規データモデル版に切り替わっていくのでしょうか？**

A3) 従来型の平坦な既存フォーマット版と一部構造化した新規データモデル版は当面共存予定です。共存を続けるのか、データモデル型へ切り替えて行くのかは広くご意見を聞きながら今後決めて行く予定です。

### **Q4) コンバーター（新旧データ変換ツール）とはどのようなものですか？**

A4) 従来の推奨データセット22種のうち項目定義書でフォーマットが決まっている17種類については新フォーマットへのコンバーターを提供予定です。エクセルで出来ており、旧（推奨データセット）レイアウトのデータを読み込んで、新（自治体標準データセット）レイアウトに簡易的に変換した結果を出力するものです。基本的には1対1でカラムを移送し、旧に無いカラムは新には出力されず、空のカラムとなります。複雑な変換には対応しておりませんが、自治体独自に拡張したカラムも簡易な操作で追加でき、柔軟な活用が可能なものとして準備中です。今回の見直し案に対するご意見を反映させた後に、2023年3月までに公開を予定しています。

### **Q5) データモデル型のデータを作るのは手間が掛かりそうなのですが**

A5) データモデル型は、いわゆる自治体DXの中で、対象物に一意的IDを附番することから始めて、マスタ（台帳）データの一元管理等の全体的な業務見直しを行うことと併せて効果を発揮するものと考えています。まずは自治体内で利活用予定のあるサービスに適合するデータを優先的に整備するのが取り組み易いのではないかと考えています。

### **Q6) 自治体標準データセットはGIFに準拠していると考えて良いですか？**

A6) 自治体標準データセットは最終的にはGIFの部分集合として整備することを目指していますが、現時点では違いもあります。例えばGIF側で必須項目「◎」となっているものであっても、自治体標準データセット側で必須項目として整備することがすぐには困難と思われる項目については、推奨項目「○」としている点などが異なります。従って、現時点ではGIFを参照してはいますが、準拠とまでは言えない状況です。

Q1) What are your future plans?

A1) Because the content of the previous recommended data set has been extensively revised, the release is positioned as a pilot release with the aim of improving the content by soliciting comments prior to the official release. Comments will be invited until the end of October. After the improvements, the final version will be released by March 2023 along with the converter (a tool for converting old and new data).

Q2) When should I start switching to the new format?

A2) The entire fiscal year 2022 is considered to be a period for both users and providers to evaluate the validity of the revised contents. During this period, there is no problem in examining whether or not the new format can be released as a trial effort, or in making a trial production. However, it is recommended that the actual switching be carried out after the official version is released and at the timing of periodic renewal after fiscal 2023.

Q3) Will the flat existing format versions be replaced by new structured data model versions?

A3) The conventional flat existing format version and the newly structured data model version are planned to coexist for the time being. Exist for the time being. Whether we will continue to co-exist or switch to the data model type will be decided in the future by listening to a wide range of opinions.

Q4) What is a converter (old / new data conversion tool)?

A4) We plan to provide converters to new formats for 17 of the 22 conventional recommended data sets whose formats are specified in the item definition document. These converters are made in Excel. They read data from the old (recommended data set) layout, convert it into the new (municipal standard data set) layout, and output the results. Basically, columns are transferred one to-one. Columns that are not in the old layout are not output to the new layout, and become empty columns. Although they do not support complex conversions, columns that have been expanded independently by local governments can be easily added with simple operations, and are now being prepared for flexible use. After reflecting opinions on the revised proposal, we plan to release them by March 2023.

Q5) It seems to be troublesome to make data model type data.

A5) In the so-called local government DX, we believe that the data model type will be effective in combination with the overall business review, such as the centralized management of master (ledger) data, starting with assigning a unique ID to an object. First of all, we think it will be easier to prepare data that is suitable for the services that are expected to be used within the local government.

Q6) Can I assume that the local government standard data set conforms to GIF?

A6) The local government standard data set aims to be prepared as a subset of the GIF in the end, but there are some differences at present. For example, the local government standard data set makes recommendations 0 for items that are deemed difficult to be prepared as required items by the local government standard data set even if they are listed as required items © by the GIF side. So at this point we are referring to the GIF, but we cannot say that it is compliant.

